

夜寒

よるむ
夜更けになると感じられる寒さ。日中感じられない寒さも、夜になると冷えて寒さが際立つこと。特に秋の終わり頃を言います。今秋も刹那で、毎年恋しく思います。



台風対策期間も終わり、ほっと一息ついた秋の半ば。立派に育ってくれているねぎたちと、ともに秋と冬を迎えることができ嬉しいなど、冷たい空気を肌で感じながら思います。

今月の ことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

届けできる頃合いが旬の秋葱たち

先月に続き、美山と丹後で育ったねぎをお届け。8月から9月にかけて1作目の収穫を終えた後に育ち、2作目として育った秋葱です。今年はヨトウムシの被害が多く、普段は虫が少ない美山でも防除を続ける必要がありました。農人一同、汗を流しながら管理作業を繰り返し、ドローンによる農薬散布の試験も並行して取り組み、作業負担の軽減にも取り組みました。10月に入って気温がグッと下がり、ねぎにとって最適な生育環境に。収穫の頃合いにはベストな仕上がりの秋葱たちです。



農人たちの畑での作業の様子、THE 農業！の現場の「こと」を発信



これから葉が太く、厚く、「あん」も蓄えて重たくなっていきます

冬の装いへと移り変わる九条ねぎたち

朝晩の空気がひやっと冷たくなり、畑にも冬の気配が近づいてきました。九条ねぎにとってこの寒さは甘みが増す合図であり、ねぎたちの表情が変わっていく兆しを感じました。夏の暑さを乗り越えてきたねぎの株は、秋の安定した気候の中で葉を伸ばし、冬葱らしい姿へと変化していきます。これから季節、日増しに気温が下がることで、ねぎの内側に糖分がたまり「あん」となり、香りや甘みが一層引き立ちます。今年も夏の高温で生育の揃いに差はありますが、それぞれの圃場でしっかり管理を続けています。



とある日の農人日記。

初めて灌水作業を行いました。作業としては単純ですが、葱たちが植わる小さい穴を狙いながらするのは腕の筋肉がかなりしんどかったです。なるべく負担をかけずに出来る方法がないかを探りながら作業しました。（京都市内・中居）

北国から畑にお客さま

農業体験のご依頼をいただいた旭川明成高校生 75 名を受け入れさせていただきました。当日はあいにくの雨の為ねぎの収穫はできず、ねぎの皮むきを行っていただきました。南丹市美山町にある畑の風景、間近で見る九条ねぎには、雨で憂鬱な気持ちも吹き飛び、終始楽しんでいただけた様子でした。

古都・事・言 3つの「こと」を伝えます

ことねぎだより

NO.222

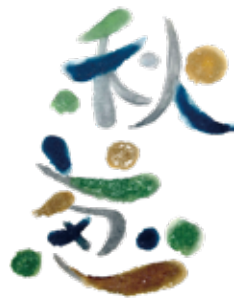
2025 年 11 月号

TEL : 075-601-0668

こと京都株式会社

KOTO GROUP

4A



こと京都は
「野菜を食べてよう」
プロジェクトの
サポーター企業です

私たちは、農林水産省が実施している本プロジェクトの趣旨に賛同し、九条ねぎを通じて野菜の消費拡大に取り組みます。